

(単元) 話題について様々な角度から検討する(評論「コインは円形か」)

(本時のねらい)

生徒は、これまで評論の学習として、「水の東西」では二項対立、「わらしべ長者の経済学」では一般論との対比という文章表現を学び、視点を変えてものごとを見る力を身につけてきた。この教材「コインは円形か」では、一面的になりがちな人間の認識や、レトリック感覚の重要性について述べられている。文章の内容を現実や身近にある事柄に結び付けて考え、他者の意見を聞いたり議論したりすることで、自分の考えを持ち、それを豊かに表現する力を身につけさせたい。

(ICT活用方法)

連想クイズをアニメーションを用いて示しながら、多面的に見なければそのものの真の姿には迫れないことを実感させる。我々のものの見方が普段一面的になりがちなことや別の見方が出来たときの発見の驚き、またある一面を見ているときは別の面は見えにくいことなどを、二通りの見方が出来る画像を電子黒板に移して、視覚を通して実感させる。

また有名なテニスプレーヤーの大坂なおみさんのインタビュー動画を視聴し、日本人らしさとは何かについて考える契機とする。

(本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	ICT活用方法	備考
導入 5分	・本時の目標を確認する。	・目標を板書して説明する。		
展開 40分	<p>1 連想クイズに答える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時にグループで作った連想クイズを皆で考える。 ・二つの見方ができる絵を見て考える。 <p>2 日本人らしさとは何かについて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大坂なおみさんを題材に、日本人らしさについてグル 	<ul style="list-style-type: none"> ・一つの視点だけでは物事を特定しがたいことに気付かせる。 ・一つの見方にとらわれがちであることを気付かせる。 ・グループでどちらかの見解に立ち、理由が述べられるように促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・連想クイズをアニメーションで示す。どれだけの視点があれば、その物事を特定できるかを実感させる。 ・二つの見方ができる絵を電子黒板で示す。 ・大坂なおみさんの写真とプロフィールを示す。 ・大坂さんの日本語と英語のインタビュー動画を流す。 	

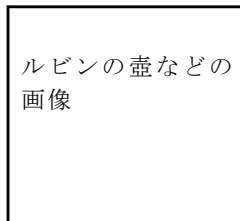
	<p>ープで話し合 い、グループ ごとに発表す る。</p> <p>3 日本人らし さについて書 かれた文章を 読む。</p> <p>・新聞記事 を読む。</p> <p>4 日本人らし さについて自 分の意見を書 く。</p> <p>・自分の意見 と根拠を短い 文章で書きま とめる。</p>	<p>・個人で静かに 文章を読ませる。</p> <p>・自分の意見を 根拠とともに書 くよう指導する。</p>		<p>・ここでグ ループを解体 し、一人で机 に向かう。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>・本時の学習 内容を振り返 る。</p>	<p>・日常の問題に もつなげて考え られるよう促す。</p>		

(授業の様子)

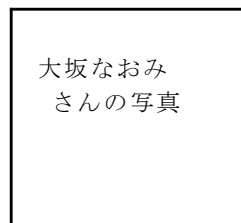
- ・自然
- ・おいしいものが多い。
- ・田舎
- ・汽車
- ・魅力度ワースト2

徳島県

連想クイズを数題
アニメーションで。



二つの見え方ができる
絵を数枚示す。



大坂なおみさんのプロフィールを
示す。インタビュー動画も。

- ・1997年10月16日
大阪府大阪市生まれ
- ・母は環さん(日本人)
父はレオナルドさん
(ハイチ系アメリカ人)
日本とアメリカの両方の国籍を
持つ。
- ・三歳まで大阪で育つ。ニューヨークに
移る。
その後アメリカ・ニューヨークに
現在フロリダを拠点に活躍中。

(生徒の反応と課題, 改善を要する点)

まず教科書の本文を理解することを土台とした上で、連想クイズやイラスト、動画などを用いて、視覚に訴えたり、現実の物事と結びつけて考えたりすることで、内容の理解が深まると共に、日常の中でも「視点」について考えられるよう促すことができたのではないかと。さまざまな手法で授業を進めたので、生徒たちは飽きずにまた興味を持って思考を続け、よく話し合いができていたと思う。毎回、読後の発展としてこのような内容を提供したいが、教科書に付属した活用コンテンツにはそのようなものがなく、全て自分で探して作成しなければならず、準備に時間を要するところが問題点である。